



## 日本公開天文台協会きょうかい

7月1～3日の3日間、ギャラクシティで日本公開天文台協会（JAPO）の年かいさい会が開催されました。この会は、全国で観望会（ギャラクシティでは「星を見る会」）や天文普及活動を行っている施設や団体・個人が参加している会で、「まるちたいけんドーム」も会員として参加しています。



彗星の見え方について講演する渡部潤一先

天体観察施設は、星の良く見える場所（都会から離れた場所）にあることが多く、都内の施設で同会の会員になっているのは、わずか3か所しかありません。今回は、都内で開催されたこともあり、全国から134名もの参加者があり、29件の研究発表や事例報告がありました。国立天文台上席教授で、まるちたいけんドームのアドバイザーでもある渡部潤一先生による、この秋から冬に接近する彗星についての講演会も行われ、一般の方々にも入場いただき、盛会でした。

全国で行われている、観望会はそれぞれユニークで工夫を凝らしたものです。大きな天体望遠鏡を持つ施設や、光害のない暗い空に恵まれた場所で行われる観望会は、ギャラクシティのスタッフからは、とても羨ましいものです。逆に、ギャラクシティのようにプラネタリウムが併設され、星を見ながら事前説明を行うことができ、悪天候の時でもイベントを成立させることができることは、それを持たない施設からは羨ましく感じられるようです。いろいろな意味で参考になることも多い会でした。次回は来年6月頃、北陸石川県で開催予定です。

2024年9月17日（解説員：田部 一志）